

民画
大津絵

高橋松山展

大津絵師 五代目

大津絵は江戸時代初期に大津宿場町にて画かれ東海道を旅する旅人たちのお土産・護符として大津から全国各地へ拡がり愛されました。令和八年は、現代において唯一大津絵の技を継承する「大津絵師 五代目 高橋松山」の画業 30 周年記念という節目の年にあたります。その記念事業の一環として天台寺門宗総本山三井寺にて企画展を開催します。今回は、高橋松山が画いた“鬼”をモチーフにした代表作に加え、新作大津絵も展示予定です。また、招待作家、長等幼稚園のこどもたちによる大津絵をテーマにした立体作品の展示も合わせて展示いたします。是非、ご来場ください。



右：
大津絵十人衆
左：青面金剛

大津絵師五代目 高橋 松山 (本名：高橋信介)

- 昭和 45 年 滋賀県大津市生まれ
- 平成 8 年 五代目松山として画業に従事
- 平成 11 年 大津絵ワークショップ開催 (アメリカ・カリフォルニア Pacific Asia Museum)
- 平成 21 年 大津絵ワークショップ開催 (京都・アサヒグループ大山崎山荘美術館)
- 平成 27 年 民画 大津絵展 (東京銀座・ギャラリー「門」)
- 平成 31 年 「大津絵展」にて実演 (フランス・パリ、日本文化会館) 「大津絵展」(大阪・阪神美術画廊) 「大津絵企画展」シンポジウムへ参加 (滋賀・大津歴史博物館)
- 令和 4 年 「一陽来復～大津絵と動物たち～」 (滋賀・天台寺門宗総本山園城寺三井寺国宝金堂)
- 令和 6 年 「大津絵師 五代目 高橋松山展 ～鬼が笑う～」 (滋賀・叶匠寿庵 寿長生の郷)

高橋松山の名を継ぎ、五代目として大津絵を今に継承する伝統絵師。大津、園城寺の近くに店を構え、日々制作に勤しむ。単に江戸期から伝わる作品を描くだけでなく、かつての大津絵師たちの精神そのままに創作図にも挑戦している。画材・技法については、伝統を守った民画であることを最重視する。オリジナルの作品では擬古典を基本としながら、現代の流行も取り入れて今の時代にも受け入れられる趣を狙う。海外にも多く流出した古典大津絵は、昨今再び注目されつつあり、そこから現在も制作を続ける五代目松山の活動にも関心が寄せられている。米仏などでの海外実演や、地元小中学校などでの体験実習を通じて大津絵の周知・普及に努める。

招待作家



立体造形作家 藤澤 憲彦

昭和 61 年 滋賀県日野町生まれ、在住。

甲賀市土山町南和晃プラスチック勤務。現役消防団員。興味関心と自らの表現の指針を「フィギュアとアートのはざま」と定め、その答えを模索しながら、現代社会から受けた「違和感」を様々な素材を用いた立体作品に託す。多様性の時代、急激に変わる価値観、日本人の今に溢れかえる極微な異変が表現者の私を透過すると、だんだんと研ぎ澄まされ、或いは混沌と膨張し始め、歪み、捻じれ、やがて「違和感」となる。それを礎に、私は横着に貪欲に強欲に自分の興味関心たる人間や生物、妖怪や神獣、そして既存のキャラクターさえも創造の垣場に投げ込んで立体作品を生み出す。何か明確な答えを見つける為ではなく、違和感を「違和感」と認識する為に。私の辿り着いた「違和感」が、誰かの「違和感」になる様に。今日を素通りしない為に、私は立体作品を作る。



仏師 秀佳 (しゅうか)

真言宗智山派僧侶

本名：大久保汰佳 (おおくぼ たいが) 平成 15 年 長野県生まれ、京都在住。

私が初めて仏像と出会ったのは物心がつかつかないという昔、3 歳の頃でした。当時、お墓に夢中であった私のもとにプレゼントされたのは仏像の本。ただならぬ勢いで私は飛びつき、それを抱きしめたのです。そこで目の当たりにした写真こそ、千手観音だったのであります。“ピピっとくる”としか言葉に出来ない強烈な瞬間でありました。さらに私は、仏像を観ることで、次第に自らもその仏像の姿をとどめたいとスケッチし、また粘土に手にはしては仏像を作りはじめました。初めて作った仏像は、幼稚園での粘土遊びから生まれたのです。粘土で仏像を作って、ダンボールで作ったお仏壇に安置し、日々にお経をお勤めする毎日を過ごしました。仏像への思いは高まり、それは自然と、仏への帰依となり、今では機縁入り出家し、僧侶として三宝を仰ぎ仏道を歩んでおります。私は今も、昔も、心の奥底から溢れるのは仏さまへの思いであります。思いは、祈りに。祈りは、かたちに。今日も粘土で仏さまをお作りしています。

<天台寺門宗総本山三井寺>

〒520-0036 滋賀県大津市園城寺町 246
TEL : 077-522-2238



<アクセス>

- * 京阪石山坂本線三井寺駅より徒歩約 10 分
- 大津市役所前駅より徒歩約 12 分
- * JR 大津駅・大津京駅から京阪バス三井寺下車すぐ
- * 名神高速大津 IC から湖岸道路経由車で約 10 分
- <三井寺入山料> 入山時間：9 時～16 時半 (受付終了 16 時)
- ・大人 800 円 (団体 30 名以上：700 円)
- ・中高生 500 円 (団体 30 名以上：400 円)
- ・小学生 300 円 (団体 30 名以上：250 円)